



おめでとう。3000 ありがとう。

JAさっぽろ

合併20周年

感謝祭

in アクセスサッポロ



平成10年に札幌市内5農協の大同合併により誕生した新生JAさっぽろ。今年20年の節目の年を迎えました。

9月24日(月・振)、これを記念した一大イベント『JAさっぽろ合併20周年感謝祭』をアクセスサッポロにて開催。5,300人を超える組合員・ご家族の皆さまにご来場いただきました。

今月号は、そのイベントの様子をご紹介します。



プログラム

- 10:15 オープニングステージ 太鼓演奏「風雪太鼓」
- 10:30 「札幌みらい中央青果 競り」
- 11:00 合併20周年感謝祭開会式
- 11:30 「愛のキャラ鍋教室」デコ鍋アートに挑戦！
- 12:00 屋外ステージイベント 太鼓演奏「風雪太鼓」
- 12:30 「笑点でお馴染み 林家木久扇師匠トークショー」
- 13:20 第1回抽選会
- 13:40 北大の先生に教えてもらおう！
「知っていますか？～農業や農協のこと～」
- 14:30 「感謝祭特別講演 瀬川瑛子スペシャル歌謡ショー」
- 15:30 第2回抽選会
- 16:00 エンディング



10時の開場を前に、入口には招待券を持った組合員の方々の大行列！入場が始まると、瞬間に各ブースが大勢の人で賑わいました。

ステージイベントのオープニングを飾ったのは、お馴染み「風雪太鼓」。感謝祭の始まりに華を添えました。また、札幌みらい中央青果の方々に「競り」では、来場者に参加を募り、実際に農産物の競りを体験していただきました。

開会式では、藤田組合長がご来場の皆さまへ挨拶を述べた他、ご来賓を代表して、秋元克広札幌市長とJA北海道中央会の飛田稔章会長にご祝辞をいただきました。



◁風雪太鼓は、屋外ステージでも演奏を披露。来場者が太鼓を叩く体験会も好評でした。



▷競り落とした農産物はもちろんお持ち帰りOK。市場さながらに白熱した競りとなりました。

代表理事組合長挨拶(抜粋)

私どもJAさっぽろは、札幌市内5つの農協が時代の趨勢を鑑み、平成10年に大同合併を決議し、新生JAさっぽろとしてスタートしました。そしてここに数えて20年の節目の年を迎えました。

合併5農協は、それぞれ戦後の混乱の中、協同組合として設立され、先達の艱難辛苦の上へ歩んでこられた貴重な歴史がございました。先達・諸先輩の方々はこの北海道の厳しい気象条件の下で、肥沃な土を作り、農業に勤しみ、今日の繁栄の礎を築いてこられました。改めて敬意を申し上げるとともに、先達の汗と涙を心にとしっかりと刻み込み、札幌の農業・農協組織を次世代へと繋いでいく責務と責任があるものと強く思うところでございます。

5農協が合併した平成10年は、バブル崩壊後の平成不況が長期化し、日本列島総不況とも言われた年でございました。その後景気は回復に向かいましたが、平成20年には、リーマンショックによる、世界的な金融不安、世界同時不況が深刻化しました。こうした激動の社会現象の中で、農業を取り巻く環境も、国際貿易交渉の進展や人口の減少、少子高齢化といった時代の流れによって大きく変貌を遂げております。このような時



代背景の中、今後の飛躍に意義深い、大きな節目である20周年を迎えられましたのも、暖かい励ましと変わらぬご支援をくださいました組合員皆さまをはじめ関係各位のご指導、ご鞭撻の賜物と痛感するところでございます。改めて心より厚くお礼申し上げますとともに、未来に向けて私達はなおも創業期の情熱を抱きながら、チャレンジに満ちた新しい30年、50年へと、この機会を次代に向けた成長の基盤を作る貴重なスタートラインにしたいと思っております。そしてこれまで築き上げた協同組合運動の歴史を教訓とし、組合員の皆さまや地域住民の皆さまとともに、新たな協同組合運動の出発点とすることを誓うものでございます。

私達は、転換期を迎えている今こそ協同の理念を大切に、協同組合の総合力を発揮し、組合員皆さまと共に農業・農協の存在価値を高め、地域に根ざした「信頼されるJAさっぽろ」の実現に向け、役員一丸となつて精進してまいります。組合員皆さまにはこれまでにも増して力強いご支援とご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

私達は、転換期を迎えている今こそ協同の理念を大切に、協同組合の総合力を発揮し、組合員皆さまと共に農業・農協の存在価値を高め、地域に根ざした「信頼されるJAさっぽろ」の実現に向け、役員一丸となつて精進してまいります。組合員皆さまにはこれまでにも増して力強いご支援とご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



△飛田会長は「組合員が交流する意義深いイベント。各地に広げたい」と挨拶しました。



△「地元の農産物を消費することが地域農業の支えになる」と話した秋元市長。



会場内では、多彩なステージプログラムその他、飲食コーナー、健康と福祉・暮らしに関するコーナーなどの様々なブースを用意。エントランスホールでは、女性部作製の野菜を使ったアレンジメント「ベジフルフラワー」を展示しました。また、野点コーナーでは、厚別地区のお茶・生花サークルの皆さんが淹れたての抹茶と茶菓子を来場者に提供。農産物販売コーナーでは、女性部員・シカレッジ受講生の皆さんに販売をお手伝いいただきました。

会場内では、この度の平成30年北海道胆振東部地震を受け、被災者の方を支援するために義援金箱を設置。皆さまからお預かりした義援金74,141円は、日本赤十字社を通じて被災地へ寄付いたします。ご来場された皆さま、ご協力ありがとうございました。



デコ鍋アートに挑戦!

「愛のキャラ鍋教室」



△一般社団法人キャラクターフード協会の大島愛子さんが「キャラ鍋」作りを披露!



厚別お茶・生花サークル

「野点コーナー」

◁来場者に本格的な抹茶を振舞いました。

「北大の先生に教えてもらおう! / 「知っていますか? ~農業や農協のこと~」



△講師を務めていただいた北海道大学 小林国之准教授。



女性部作製

「ベジフルフラワー」



△エントランスで来場者を出迎えたベジフルフラワーは、注目的!





△木久扇師匠には、抽選会にもご参加いただきました。



△木久扇師匠の弟子、林家木りんさんも会場に駆けつけてくれました。



△瀬川瑛子さんの歌謡ショーでは、不朽の名曲「命くれぬい」や新曲「白い宿」など10曲を披露していただきました。

来場した皆さんの一番のお目当ては、「笑点でお馴染みの落語家 林家木久扇師匠によるトークショーと瀬川瑛子さんによるスペシャル歌謡ショー」。1,000席ほど用意したメインステージ前の観覧席は満席、立ち見の列も何重にもなるほど多くの方に楽しんでいただきました。



△笑点では、まずいと噂の!? (笑)「林家木久蔵ラーメン」も販売。



▷会場から溢れんばかりの人、人、人!!!



林家木久扇さん・瀬川瑛子さんのサイン色紙を

抽選で5名様にプレゼント!

木久扇さん
サイン
2名様



瀬川さん
サイン
3名様



応募方法

ハガキ・FAX・Eメールいずれかの方法で

- ①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤職業(学年)、⑥木久扇さん・瀬川さんのどちらを希望するかを記載の上、右記宛て先までご応募ください。

※当選者の発表は、12月中旬の賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※皆さまからの応募で知り得た個人情報については当選者を選定・賞品を発送する目的以外には利用いたしません。
※当選された賞品を第三者に譲渡・転売することは固くお断りいたします。譲渡・転売目的での応募はご遠慮ください。

宛て先

〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目1番10号
JAさっぽろ「サイン色紙プレゼント」係
FAX: (011)621-1449
Eメール: kouhou@ja-sapporo.or.jp

締め切り

平成30年11月30日(金) (当日消印有効)



10月1日(月)
「札幌黄」初セリ

「札幌黄」販売開始 初セリで1箱1万円の最高値

「札幌黄」玉ねぎの初セリが札幌市中央卸売市場で行なわれ、昨年同様、最高値1ケース(10kg)1万円で取引されました。今年は、6月・7月の長雨など天候不順の影響もあり昨年よりも二週間ほど遅い初セリで、全体的に小玉傾向ですが、味は非常に良く市場関係者からも上々の評価を得ていました。

札幌黄は肉厚で柔らかく、味は甘さと辛さのバランスが良く、熱を加えるといっそう甘味が増すのが特徴で、日本の玉ねぎ栽培の先駆けとして札幌で誕生しました。形や大きさが不揃いになりがちで、病気にも弱く栽培が難しいことから、一時は生産者が10戸程度にまで激減。近年その価値が見直されたことで再び栽培に乗り出す生産者が増え、現在は約30戸で栽培されています。



最高値が付けられた札幌黄。



報道機関からインタビューを受ける、生産者の澤田喜幸さん。



10月5日(金)
とれたてっこ南生産者直売所

とれたてっこ南で年に1度の収穫祭

爽りの秋を迎えた、とれたてっこ南生産者直売所では、年に1度の一大イベント「収穫感謝祭」を開催しました。この日は店舗の外にも売り場を広げ、出品している生産者自ら店頭に立って新鮮な農産物を販売。午前9時半のオープンには、この日を待ちわびた来店客の大行列ができていました。所狭しに並んでいた野菜や果物は次々と来店客が手に取り、30分ほどで売り切れてしまう商品も。数量限定の牛乳配布、地元産の米や野菜、果物などが当たる抽選会も好評で、大盛況の一日となりました。



豪華景品に笑顔。



屋外にもテントがずらり。



地元農産物をお手頃価格で販売 篠路地区「大収穫祭」&北札幌地区「農産物即売会」開催!

J Aまつりに代わる地区のイベントとして、10月6日(土)に篠路地区「大収穫祭」、7日(日)には北札幌地区「農産物即売会」を開催しました。

篠路地区「大収穫祭」では、農産物の販売の他、女性部の手作りの販売や特製たまねぎドレッシングの試食、たまごや砂糖のお得なタイムセールなどを行ないました。また、初めての試みとして来場した子ども達に参加できる「野菜のイラストコンテスト」を企画し、入賞者には賞品を贈呈しました。

北札幌地区では、当初J Aまつりとしてステージイベントも企画していましたが、台風や地震の影響で実施を断念。今年は、「農産物即売会」として女性部・青年部による生産者直売品コーナーや購入金額に応じたおたのしみ抽選会で来場者の皆さんに楽しんでいただきました。

篠路地区「大収穫祭」



篠路産レタスに特製たまねぎドレッシングをかけて、「試食どうぞ〜!」



イラストコンテストの金賞作品。

北札幌地区「農産物即売会」



野菜がどんどん売れて売り場は大忙し!



組合員の
活動をご紹介します!
します!

a l a c a



9月21日(金)

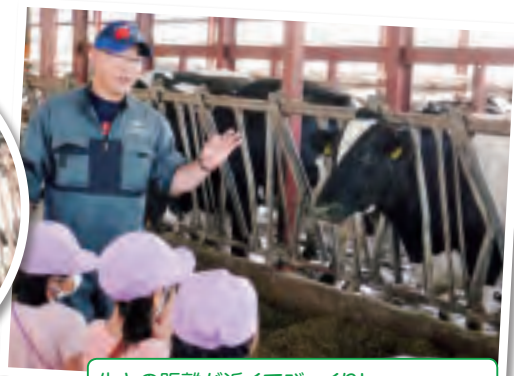
厚別統括支店 1統括支店1協同活動

大迫力!至近距離で牛を観察 小学生が“牛乳”を学ぶ

厚別統括支店では、(有)小林牧場と新札幌乳業(株)にご協力いただき、信濃小学校の2年生児童105名を招いた牧場見学と生乳が牛乳になるまでを学ぶ食育授業を行ないました。

550頭のホルスタインを飼育する小林牧場では、牧場内の様々な施設を見学。搾乳牛の牛舎では、600kg以上にもなるという牛を間近で観察することができ、児童は迫りに圧倒されていました。牧場見学後には新札幌乳業(株)より生乳が牛乳などの商品になるまでの工程を解説。同社が小林牧場の生乳で製造する「のむヨーグルト」も振舞われ、「おいしい!もっと飲みたい!」と児童から大好評でした。

小林牧場では、牛舎から排出される糞尿をすべてバイオガスプラントに集め、そこから分離したバイオガスは発電設備の燃料、液肥は牧草などの畑の養分、繊維質の資材は再生敷料として利用しており、牧場内で土からエサ、エサから牛、牛からまた土へと戻る循環酪農を実践しています。この度の地震による停電では、道内各地の牧場で搾乳ができないなどの被害が発生しましたが、小林牧場では自家発電によって同様の被害は免れました。



牛との距離が近くてびっくり!
牛が驚かないように静かに見学しました。



(左から)小林牧場の小林智行さん、新札幌乳業の中澤卓司さん・引地あけみさん。
児童からあがったたくさんの質問に答え
ていただきました。



稲刈りに参加した親子の皆さん。



9月29日(土)

南統括支店 1統括支店1協同活動

豊作の「こがねの里」で 親子と新陽高生が稲刈りに挑戦

南統括支店では、南区小金湯の土田栄子さんにお借りした田んぼ「こがねの里」で稲刈り体験を行ないました。今回は、6月に田植え体験をした親子と札幌新陽高校の生徒の皆さんなど総勢60名が参加。2面の田んぼの稲を1日かけて全て手作業で刈り取りました。

はじめに同地区組合員で稲作農家の南里正博さんがお手本を披露。正確にどんどん刈り取られる様子に参加者からは歓声があがりました。その後、お手本を参考に全員で稲刈りスタート。参加者は予想以上にスパッと切れる鎌の切れ味に驚きつつ、小さい子どもたちには大人が付き添って稲刈りを楽しんでいました。収穫した米は後日精米し、参加者にプレゼントする予定です。(野呂特派員)



昨年引き続き、豊作に恵まれた大豆。



組合員の皆さんが根本の部分を切り落とします。

 10月3日(水)
白石統括支店 1統括支店1協同活動

実入り良く豊作! 待ちに待った大豆の収穫

白石統括支店では、同地区組合員の宮崎勝吉さんの圃場に東札幌小学校3年生の児童を招き、鶴の子大豆の収穫を行いました。

この大豆は、6月初旬にサッポロミドリ(エダマメ)とともに植えたもの。今年は、サッポロミドリの成長が早く夏休み中に収穫してしまったため、児童の収穫体験は今回が初めてです。児童が畑に集合すると、宮口理事が「サッポロミドリの収穫体験ができなかったので、大豆の収穫をみんな楽しみにしていたと思います。今年も実入りが良い大豆ができました」と挨拶。収穫は、全員で一斉に根本から引き抜き、瞬く間に終了。実をたくさんつけた大豆に児童も組合員の皆さんも大満足の様子でした。収穫した大豆は学校で十分乾燥させ、きな粉に加工して味わう予定です。



 10月19日(金)
篠路統括支店 1統括支店1協同活動

収穫した玉ねぎを使ってカレー作り

篠路統括支店では、太平保育園に組合員と職員が出向き、9月に収穫した玉ねぎを使って園児とともにカレー作りを行いました。

園児は、玉ねぎ・ニンジン・じゃがいもを切る作業をお手伝い。慣れない手つきで包丁を握りながらも「もっと切りたい!」と次々と野菜を手に取り、一生懸命取り組んでいました。また、野菜と肉を炒める作業も体験。大鍋に入った材料は園児にとってはとても重そうでしたが、混ぜる回数をみんなで声を合わせて数えながら楽しそうに炒めていました。できあがったカレーはその日のお昼ご飯に全員で味わいました。



「手を切らないように気をつけてね」



切った具材を大鍋で炒めます。



組合員の
活動をご紹介します!
します!



9月22日(土)・23日(日)

JAさっぽろ青年部

青年部員が札幌産農産物をPR販売

JAさっぽろ青年部(平賀 農^{つとむ}部長)では、農業PR事業の一環としてサッポロさとらんどの「たまねぎフェスタ」で札幌産農産物と茹でとうきびの販売を行ないました。

サッポロさとらんどの主催で行なわれるこのイベントは、今年で8回目。玉ねぎの知識を広めることを目的に、玉ねぎを使った料理や加工品が多く販売されます。当青年部からは出品者と販売者合わせて29名の部員が参加。玉ねぎをはじめ、とうきび、レタス、ミニトマト、カボチャ、花など生産者が丹精込めて育てた多数の農産物を販売し、2日間で用意したほとんどの商品が完売しました。今年は、台風や地震による農業への影響を心配する来場者も多く、「食べて応援するので頑張ってください」と商品を手に取る様子が多く見られました。



10月4日(木)

女性部西町支部

試食してびっくり! Jファームのとびきり甘いミニトマト

女性部西町支部(佐々木トシ子支部長)では、部員17名が参加し苫小牧・白老方面への日帰り旅行を実施しました。

今回メインの訪問先は苫小牧市柏原にある㈱Jファーム苫小牧工場。ハウス内を植物の生育に最適な栽培環境に制御するスマートアグリシステムを採用した植物工場で、ベビーリーフとトマトが水耕栽培されています。この工場で収穫されたミニトマトの糖度は10度にもなるということで試食してみると、あまりの甘さに一同感激!工場内をじっくり見学でき、充実した一日になりました。

(佐々木特派員)



9月10日(月)

酪農畜産部会琴似・手稲支部

平成30年度 デントコーン収量調査を実施

酪農畜産部会琴似・手稲支部(上野裕一支部長)では、部会員7名が参加し、平成30年度デントコーン収量調査を実施しました。午前9時30分に近藤牧場より車3台を連ねて出発し、3地区(3戸3圃場)に分かれて行ないました。

本年は、6月中旬から7月中旬にかけて低温で推移したことから初期生育が抑制。また、この時期はまとまった降雨があり土壌は湿潤で経過しました。その後8月上旬にかけて高温・少雨傾向で、8月中旬からは低温で推移し雨量も極めて多く、9月5日の台風21号の影響で倒伏が多く見られました。

調査後には、関係機関から「全体的に生育が遅れたのと湿害が顕著に現れたことで収量は前年に比べ大きく減少している」との講評をいただきました。

(増田特派員)





9月13日(木)

資産管理部会中央支部、青色申告会中央支部

美術館・博物館を巡り交流深める

資産管理部会中央支部(末原隆一支部長)と青色申告会中央支部(佐藤隆一支部長)では、部員13名が参加し、富良野方面への日帰り合同研修旅行を実施しました。

上富良野町の後藤純男美術館では、日本を代表する日本画家による日本の風景画を堪能。同所のレストランにて十勝岳連峰やのどかな丘陵地帯を眺めながら昼食も楽しみました。土の博物館「土の館」では、国内外のトラクターやプラウを見学し、農耕の歴史を学びました。その後、麓郷にて「北の国から」で使用した手作りの家を見学。札幌市内到着後には参加者全員で懇親会を行ない会員相互の交流を深めました。震災後で開催も危ぶまれましたが、滞りなく実施することができ、1日を通じて天気にも恵まれ充実した視察研修会となりました。(小山特派員)



9月26日(水)

資産管理部会篠路支部、青色申告会篠路支部

余市・小樽で充実した一日を満喫

資産管理部会篠路支部(松木道夫支部長)と青色申告会篠路支部(熊本基雄支部長)では、両部会から30名が参加し、余市・小樽方面へ合同現地研修会を実施しました。

余市町の山本観光果樹園ではリンゴ・プルーン・ブドウの果物狩り、ニッカウヰスキー北海道工場では施設見学と試飲を楽しみました。昼食は鮭ブッフエディングふじでお寿司の食べ放題を堪能。その後、小樽の田中酒造での酒蔵見学と試飲、かま栄での買い物を楽しみました。会員相互の親睦を深め、充実した一日を過ごしました。(宮口特派員)



ニッカウヰスキー施設内を見学。



10月4日(木)

資産管理部会白石支部、青色申告会白石支部

土地価格の動向と遺言信託について 専門家を招いて研修会

資産管理部会白石支部(丸亀鐵治支部長)と青色申告会白石支部(稲垣政博支部長)では、会員10名が参加し、合同研修会を開催しました。



今年度は豪華2部構成。第1部は、札幌市まちづくり政策局都市計画部より講師を迎え、「札幌の土地価格の動き」について。会員が居住する白石区の最新データを交えながらお話をいただきました。第2部は、農中信託銀行(株)より講師を迎え、「遺言信託」について。相続を「争族」としないために遺言や信託を「道具」として利用することで生活(農業)資産の継承に役立てることができる旨の説明がありました。

質疑応答では、会員自身の居住地区の動向や実際の相続手続について等、気になる点を聞くことができ有意義な研修となりました。(尾崎特派員)



★あなたの自慢、教えてください★

ジマンだい!

厚別地区

小林 ヨシ子さん
(小林牧場)



「オクラの花」



9月下旬、厚別地区の小林ヨシ子さんのハウスでオクラの花が咲きました。

オクラの花はとても短命で、朝咲くとたった1日でしぼんでしまい、再び咲くことはありません。

「オクラの実がなっている様子もあまり知られていないけど、花はもっとめずらしいんですよ。ひとつの花は1度しか咲かない上に、きれいに咲いているのはだいたい午前中まで。見頃がとっても短い。めずらしいオクラの花は、私のちょっとした自慢です」

わずかな時間しか花を楽しめないのは残念ですが、花がしぼんで落ちたところにオクラの実ができます。ハウスの中には、美味しそうなオクラがたくさんなっていました。



◁▽収穫したオクラはご近所におすそ分けすることも。オクラの葉に包んで小包にするととても喜ばれます。



オクラの栄養

オクラは、高血圧予防に良いとされるカリウムや、エネルギーの代謝を助けるビオチンなどが多く含まれています。β-カロテンやビタミンB群、カルシウム、葉酸、マグネシウムなどのミネラルも適度に含まれます。

オクラの特徴であるネバナは、主に複合タンパク質と水溶性食物繊維のペクチン。ペクチンは整腸作用やコレステロールの吸収を抑制し、血圧を下げる効果があると言われています。

タイトルは、きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。

不動産プラザ通信

札幌市の防災アプリ「そなえ」

防災情報や災害時に役立つ情報を配信するスマートフォンアプリ「札幌市防災アプリ」(愛称:そなえ)をご紹介します。

このアプリは、避難勧告等の発令や避難場所の設置、気象警報などの災害情報をプッシュ通知でお知らせするほか、衛星測位システム(GPS)により取得した位置情報を基に、現在地周辺の避難場所を地図に表示する機能などを備えており、アプリ利用者は、災害時に役立つ情報をより早く・簡単に入手することができます。また、メニュー等を多言語表示し、外国人の方にも対応しています。



【主な機能】

| 機能 | 内容 |
|----------------|--|
| 避難・災害情報表示 | 札幌市が発令する避難情報(避難勧告等)のほか、避難場所の設置情報や気象庁が発表する気象警報、土砂災害警戒情報、地震情報などがプッシュ通知で配信。 |
| ハザードマップ・避難場所表示 | 地区別の各種ハザードマップ(災害危険箇所図)を閲覧できるほか、GPSにより取得した位置情報を基に、現在地周辺の災害の種類(洪水・土砂・地震)に応じた避難場所の位置を地図に表示。また、AR(拡張現実)技術により、スマートフォンをかざすだけで、現在地からの避難場所の方向と距離を表示。 |
| SOS発信・安否情報 | 事前登録した連絡先(最大5件)に、自分の居場所と緊急事態であることを簡単な操作でメール送信できる。また、インターネット通信により、被災した家族や友人の状況を検索したり、情報を掲示することができる。 |
| AR危険度体験 | AR技術により、スマートフォンをかざすだけで、現在地の災害別の危険度をアニメーションで表示 |

【全体メニュー】



ダウンロードとご利用は無料です。(別途通信料がかかります。)AppStoreまたはGooglePlayStoreで「そなえ」と検索または、下記QRコードからインストールしてください。

iPhone/iPadの方
AppStoreから
ダウンロード



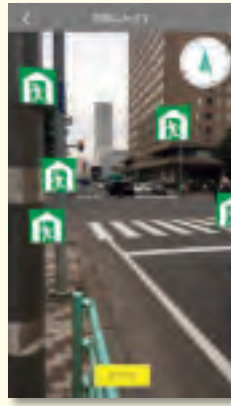
Androidの方
GooglePlayから
ダウンロード





【避難場所表示】

GPSにより自分の位置と、周囲の避難場所を表示。避難場所は、災害種別に対応した避難場所のみの表示も可能。



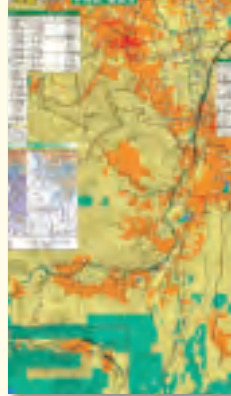
【エアタグ】

スマホをかざすと現実風景に各避難場所の方向、距離を重ねて表示。



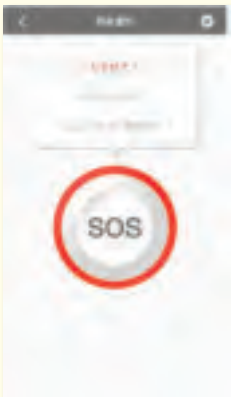
【防災学習】

避難の心得や非常持ち出し品など、防災について学習できます。



【ハザードマップ】

札幌市が発表している、地震や洪水のハザードマップを確認できます。



【SOS発信】

事前に登録した最大5名にワンタッチで居場所と定型のメッセージを送信可能。



【SOS受信】

メッセージと場所をメールで受信します。



【緊急情報】

気象警報、Jアラート情報の他、札幌市からの避難勧告等の緊急情報を一覧で表示。



【危険度体験】

その場の危険(土砂、浸水)をわかりやすくアニメーションで表示。

ご紹介の札幌市防災アプリ「そなえ」は、災害発生時に避難・災害などの情報を「スマホ」で確認できる便利なアプリです。ご利用に関するお問い合わせは、札幌市危機管理対策室(Tel 011-211-3062)へお願いいたします。

東経済センター厚別店冬期休業のお知らせ

東経済センター厚別店は、11月～2月は冬期休業とさせていただきます。厚別店の職員は、月～金曜日まで東経済センターで勤務しておりますので、お問い合わせ等は下記へお願いいたします。

組合員の皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

東経済センター／札幌市清田区真栄1条1丁目1番17号 TEL 011-883-2570



理事会だより

◆第6回定例理事会

平成30年9月28日(金)午後1時より本店役員会議室において第6回定例理事会が開催された。

●協議事項

- 1、第29回JA北海道大会組合員組織討議にかかる意見集約について
平成30年11月13日に開催されるJA北海道大会の組合員組織討議資料に対する意見集約(案)が説明され、可決決定。
- 2、『情報システム運用管理規程』の一部改正について
共済契約事務システムにおける「共済端末機連営管理要領」より、「Adacs」端末機連営管理要領」が独立し一要領となつた等に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。
- 3、平成30年度燃料手当の支給について
支給基準単価および支給額等の内容が説明され、可決決定。
- 4、金融機関貸付について
本店営業部扱い1件の金融機関貸付新規案件について説明され、可決決定。
- 5、平成31年度予約購買奨励金について
組合員の奨励施策の一環とする、予約購買(肥料・農薬の取りまとめ分)の購入額に応じた奨励を行なう事を目的とした内容について説明され、可決決定。
- 6、平成31年度肥料引取奨励金について
組合員の奨励施策の一環とする、肥料の取りまとめ分に限り、店頭引取をされた組合員に対する奨励内容について説明され、可決決定。
- 報告事項
- 1、会計監査人の選定・選任について
- 2、特別債権等の処理状況報告
- 3、重要管理債権経営状況等報告
- 4、平成30年度第3四半期余剰金等運用計画額および運用方針について
- 5、8月末財務状況報告
- 6、8月末組合員加入・脱退状況報告
- 7、9月の動静と10月の予定について

(閉会・午後2時50分)

JAさっぽろDATA

(平成30年9月末業務実績) (平成30年8月末業務実績)

| | | | | |
|---------|------|--------------|------|--------------|
| 組合員数 | 正組合員 | 3,764名 | 正組合員 | 3,766名 |
| | 准組合員 | 31,828名 | 准組合員 | 31,761名 |
| | 合計 | 35,592名 | 合計 | 35,527名 |
| 出資金残高 | | 56億8千4百万円 | | 56億5千1百万円 |
| 販売取扱高 | | 9億9千8百万円 | | 7億6千4百万円 |
| 購買供給高 | | 5億7千2百万円 | | 5億1千1百万円 |
| 貯金残高 | | 3,230億8千6百万円 | | 3,217億1千8百万円 |
| 融資残高 | | 860億円 | | 859億2千6百万円 |
| 共済保有高 | | 5,967億8千1百万円 | | 5,965億1千3百万円 |
| 施設建設取扱高 | | 9千1百万円 | | — |
| 管理受託戸数 | | 4,426戸 | | 4,417戸 |

※出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。